

祝辞

紫野キャンパスにも爽やかな秋の気配が感じられる今日この頃、本日卒業を迎えられた62名の皆様、大学院を修了された2名の方々、誠におめでとうございます。通信課程の同窓会組織である鷹陵同窓会を代表しまして、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

皆様は入学を志した日から今日まで、学ぶことの喜び、そして苦しみなど、様々な体験をされて来た事と思います。

通信教育で卒業をすることは容易な事ではなく、自身で計画を立て、自らを律し己を励まさなければなりません。今、皆様の胸の中には、様々な思いが去来し、大きな満足感を得られたのではないのでしょうか。

勉学の最中に発生した新型コロナウイルス感染症は、ソーシャルディスタンスという人と人との物理的距離だけではなく、心の距離までも奪い、今も続くマスク生活は人の笑顔や表情までも奪ってしまいました。

それらの苦難を乗り越えて、ここに晴れの授与式を迎えられ証書を手にした皆様本当におめでとうございます。

佛教大学通信教育の精神は、法然上人が遠く離れた地方に住む弟子や信徒に対して教えを伝えた、御消息と云う手紙にあると伺っております。この精神を受け継ぐ伝統有る佛教大学の卒業生である事は、私たちにとって大きな誇りであり、本日皆様が手にした卒業証書は、学業成就の証であると共に、そこに込められた法然上人の精神をもって、私たちと大学を繋ぐ絆ともなります。

私達の鷹陵同窓会は、昭和31年に第一期生の有志により立ち上げられ、日本国内に支部を置き、現在、2万人以上の同窓会員を擁し、在学生との交流も図り、研修会、講演会を実施し、地域を跨いでの活動も活発に行われています。

同窓会とは不思議なもので、佛教大学の卒業生というだけで旧知のような仲になってしまいます。私自身、同窓会は成長と心の拠り所の場とっており先輩や多くの仲間との交流によって、思わぬ人脈が広がり自身の成長に大いに役立っていると感じています。

卒業・修了された皆様方には、是非とも鷹陵同窓会に入会して頂き、在学生との橋渡し役として、今後とも御縁をいただければ幸いです。

『心のふるさと佛教大学』で皆様方と又、お会いできる事を期待しております。最後になりましたが、皆様がますますご健勝で活躍されますことを祈念し、併せて母校のさらなる発展を願って、お祝いのことばといたします。

令和5年9月30日

佛教大学鷹陵同窓会 会長 河田 茂美